

2021 年度

地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用  
に関する調査報告書

# 目次

## ■地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用に関する調査

1. 「地域活性化に向けた新たな海洋センター整備事業」に係る  
調査研究事業 . . . . 2

## ■地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用に関するパイロット実施

2. 「海洋センター周辺の遊休スペースを活用した外遊び促進のための  
遊び場づくり」に係る調査研究事業  
. . . . 7

## ■はじめに

B & G財団では、「地域力の活用計画」に基づき、地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用を見出すため、トライアル事業の実施や関係者へのヒアリング、視察等の調査を調査研究事業として行っている。

2021年度調査研究事業は、「地域力の活用計画」に基づき、

①「地域活性化に向けた新たな海洋センター整備事業」に係る調査研究事業

②「海洋センター周辺の遊休スペースを活用した外遊び促進のための遊び場づくり」に係る調査研究事業

の2事業について、調査及びパイロット実施を行った。以下に各調査の詳細を報告する。

## 地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用に関する調査

### 1. 「地域活性化に向けた新たな海洋センター整備事業」に係る調査研究事業

#### (1) 調査目的

空き公共施設を活用した建替えや新設など海洋センターの新たな整備に伴う事業立案に向け、適地候補地やニーズを調査し、今後の事業立案に向けた一助とする。

#### (2) 背景及び調査仮説

海洋センターは、ほぼすべての施設が建設から20年以上が経っている。また、センター事業も、現代社会のニーズの変化により、より多様な活動内容が求められている。各自治体の首長から意見や要望を徴収することにより、自治体としての意向や展開、実施候補地の見込み等が把握できる。

#### (3) アンケート調査の実施

##### ①アンケート実施内容

- ・対象者：全海洋センター所在自治体 首長
- ・実施期間：2021年8月20日～2021年9月8日
- ・実施内容：自治体へ郵送し、FAXまたは郵送で回答いただく
- ・回答数：304自治体
- ・回答率：78% (307/386自治体)

##### ②アンケート結果

#### 問1-1

「事業概要」および「事業比較表」をご覧ください、整備したいまたは整備を検討したいと考える事業はありますか？

#### 【回答】

ある	103件 (34%)
ない	201件 (66%)

#### 問1-2

問 1-1 で「ある」と回答いただいた方にお聞きします。整備したいまたは整備を検討したいと考える事業に 1 をつけてください。※複数回答可

①先進的海洋センター

整備したい	7 件
検討したい	32 件

②複合的海洋センター（建替え）

整備したい	23 件
検討したい	60 件

③空き施設

整備したい	12 件
検討したい	32 件

**問 1-3**

問 1-1 で「ある」と回答いただいた方にお聞きします。問 1-2 の『複合型海洋センター（建替え）』と『空き公共施設・空き家を有効活用した「第二海洋センター（サテライト拠点）」』は両方整備することが可能です。どちらも整備したいと思いますか？

思う	31 件
思わない	69 件

**問 1-4**

問 1-1 で「ある」と回答いただいた方にお聞きします。新たな海洋センターの整備方法や整備内容についてあてはまるものに 1 をつけてください。

◆先進的海洋センター

①建替え（新築）	19 件
②改築	10 件
③リノベーション	12 件

◆複合型海洋センター（建替え）

①建替え（新築）	60 件
②改築	14 件
③リノベーション	21 件

◆空き施設

①公民館	3 件
②廃校	20 件
③役場等の公共施設群	19 件
④空き家や民家（自治体所有が条件）	10 件
⑤保育所	2 件
⑥その他	2 件

### 問 2-1

①問 1-2 で「先進的海洋センター」を整備したいまたは、検討したいと回答いただいた方にお聞きします。

#### ◆先進的海洋センター

新たな海洋センター整備を希望する際、どのような事業（拠点）および機能を付加し展開したいと考えますか。※複数回答可

①屋内施設の要素の付加（トレーニングジム・海洋クラブハウス・レッススタジオ他）	86
②新たな水辺活動拠点（マリンスポーツ体験活動の複合拠点・環境体験教育施設他）	52
③屋外施設の要素の付加（屋外アスレチック・スケートボードパーク他）	49
④学習・ワーキングスペース	45
⑤テナント	35
⑥子育て支援施設	28
⑦観光施設	25
⑧防災拠点	23
⑨文化的施設	22
⑩高齢者施設	6
⑪医療等関係施設	5
⑫その他	1

### 問 2-2

問 1 - 2 で『複合型海洋センター（建替え）』整備をしたいまたは、検討したいと回答いただいた方にお聞きします。

#### ◆複合型海洋センター（建替え）

①既存の海洋センターを建替え、他機能を加えた複合型海洋センター（地域社会問題解決を図るための新たな多機能拠点化施設）を整備し、貴自治体の課題解決、海洋センター利用人数の増加、地域活性化等を図りたいと思いませんか？

①とてもそう思う	43 件
②そう思う	38 件
③現状を維持	1 件

②複合型海洋センター（建替え）として検討したい対象施設を教えてください。

※複数選択可、ただし自治体にて所有する既存海洋センター施設のみ選択可

①体育館	45 件
②プール	60 件
③艇庫	13 件

③海洋センターを建て替える際、どこに建替えたいですか？

①既存海洋センター所在地	68 件
②既存海洋センター所在地以外	11 件

④どのような機能を新たに備えたいですか？また、新たに付加したい施設内容をそれぞれ教えて

ください。(複数回答可)

①屋内施設の要素の付加 (トレーニングジム・温水プール・ボルダリング他)	168
②屋外施設の要素の付加 (スケートボードパーク・屋外アスレチック他)	68
③学習・ワーキングスペース (自主学習スペース・ワーキングスペース他)	59
④子育て支援施設	47
⑤防災拠点	41
⑥テナント	40
⑦文化的施設	20
⑧観光施設	19
⑨高齢者施設	9
⑩医療等関係施設	3
⑪その他	11

### 問 2-3

問 1 - 2 で空き公共施設・空き家を有効活用した『第二海洋センター (サテライト拠点)』整備をしたまたは、検討したいと回答いただいた方にお聞きします。

#### ◆空き公共施設・空き家を有効活用した「第二海洋センター (サテライト拠点)」

①空き公共施設・空き家を有効活用した「第二海洋センター (サテライト拠点)」の整備を行い、貴自治体の課題解決、新たな拠点の増加による海洋センター利用人数の増加、地域活性化等を図りたいと思いますか？

①とてもそう思う	20 件
②そう思う	22 件

②空き公共施設・空き家を有効活用した「第二海洋センター (サテライト拠点)」を整備した際に、どのような空き公共施設を活用し、どのような事業 (拠点) を展開したいですか？

※複数回答可

①学習・ワーキングスペース (自主学習スペース・ワーキングスペース他)	55
②屋内施設の要素の付加 (トレーニングジム・ボルダリング他)	49
③子育て支援施設 (子ども第三の居場所・遊戯スペース・子ども食堂他)	43
④屋外施設の要素の付加 (併設・増設等)	35
⑤新たな水辺活動拠点	34
⑥テナント	27
⑦防災拠点	21
⑧文化的施設	17
⑨観光施設	16
⑩高齢者施設	8
⑪医療等関係施設	1
⑫その他	7

## (5) アンケート結果の分析

- ・地域住民のニーズの多様化や海洋センターの老朽化など現状のもと、海洋センター整備を検討したい自治体は103件あり、海洋センター整備事業は、ニーズが高い事業であることが分かる。特に、新たに建替える複合的海洋センターのニーズが高い。
- ・「先進的海洋センター」及び「複合型海洋センター」の整備内容は、トレーニングジムなど従来の設備に加え、スケートボードパークやトランポリンパークなど新たな種目が楽しめる設備や、新型コロナウイルス感染症の影響で増加した在宅勤務を反映し、ワーキングスペースなどの機能に対しての要望が多かった。また、社会体育事業のみならず、幼児から高齢者までが分け隔てなく集える場所として有効活用を図れる多機能型の施設が求められている。
- ・高齢化が進む中、過疎地域及び山間地域における持続可能な地域づくりの核となる「小さな拠点」への要望も高い。また、小学校の統廃合による、空き公共施設の有効活用は自治体の課題の一つとなっている。空き公共施設を活用した整備については、コミュニティ機能が求められており、遊戯スペースなど幼児が気軽に集える子育て支援機能の要望が多かった。

## (6) 今後の方針

- ・2022年度は、「先進的海洋センター」については、今回の調査結果をもとに、これまでの海洋センターを大胆に変化させた複合型の先進的海洋センターを整備するために、設置希望自治体から企画提案を募り、実施自治体を決定する。  
また、「複合型海洋センター」「空き公共施設」については、各自治体の要望等を吟味しながら、2022年度から事業の実施ができるよう、事業計画を検討していく。

## 地域活性化に向けた海洋センターの新たな活用に関するパイロット実施

### 2. 海洋センター周辺の遊休スペースを活用した外遊び促進のための遊び場づくりに関する調査研究事業

#### (1) 調査目的

海洋センター周辺の遊休スペースを活用した遊び場を設置し、子ども達の成長に欠かせないと言われる外遊びを促進するための設備や運営上の仕組み、方策等を見出すことを目的とする。

#### (2) 背景・課題

子どもの成長に外遊びは欠かせないと言われるが、子供の外遊び 時間が減少している。  
(小学生の8割が平日の外遊びゼロ ※2019年度千葉大調べ、コロナ禍でさらに減少)

#### (3) 調査仮説

子どもの外遊びが減少した原因として「屋内でのテレビゲームなどで遊ぶ子供が増えた」ことや「不審者など安全への不安」「外遊びをする仲間がいない」、「公園のルールが厳しい」などの理由が考えられる。よって、以下(1)～(5)を実施することで、外遊びが促進されると仮説し、調査を行う。

- (1) テレビゲームよりも魅力的な遊具を設置することで、子どもたちに対して外出する動機を誘発することができる。
- (2) 海洋センター周辺に遊具を設置することで、海洋センター利用者の見守りの目が生まれ、

安全度が高まり、安全への不安を解消することができる。

- (3) 海洋センター周辺であれば、トイレや休憩所もあり、幼児や保護者も継続的に通いやすい環境となり、友達がつくりやすくなる。
- (4) 遊具の貸出を行うことで、遊具の有無に関係が無く、誰でも気兼ねなく、外遊びを楽しむことができる。
- (5) 細かいルールは定めず「保護者または自分の責任で遊ぶ」とすることで、自由に遊べる場という雰囲気を醸成することができる。

#### (4) 調査内容

- ・遊休スペースへ遊具を置き、「遊び場」を設置し、年代別および属性別に集客力・満足度等を測る。
- ・利用者、保護者、海洋センタースタッフへのアンケート・ヒアリング調査を行う。
- ・利用者及び保護者について、設置～9月まで継続利用者の数、継続利用する要因、各個人の外遊び時間の変化について調査を行う。
- ・海洋センター利用者への「遊び場」への見守りの意識調査を行う。

#### (5) 遊具の選定

- ・設置遊具：パンプトラック（自転車・スケボーが楽しめる起伏のあるコースをつくる遊具）
- ・選定理由：様々な設置方法が可能で幼児から大人まで、幅広い世代が遊べるプレイパークづくりが可能である。また、持ち運びができるため、「屋外での実施」「移動イベントの開催」「冬場・廃校プールの活用」なども可能であるため。



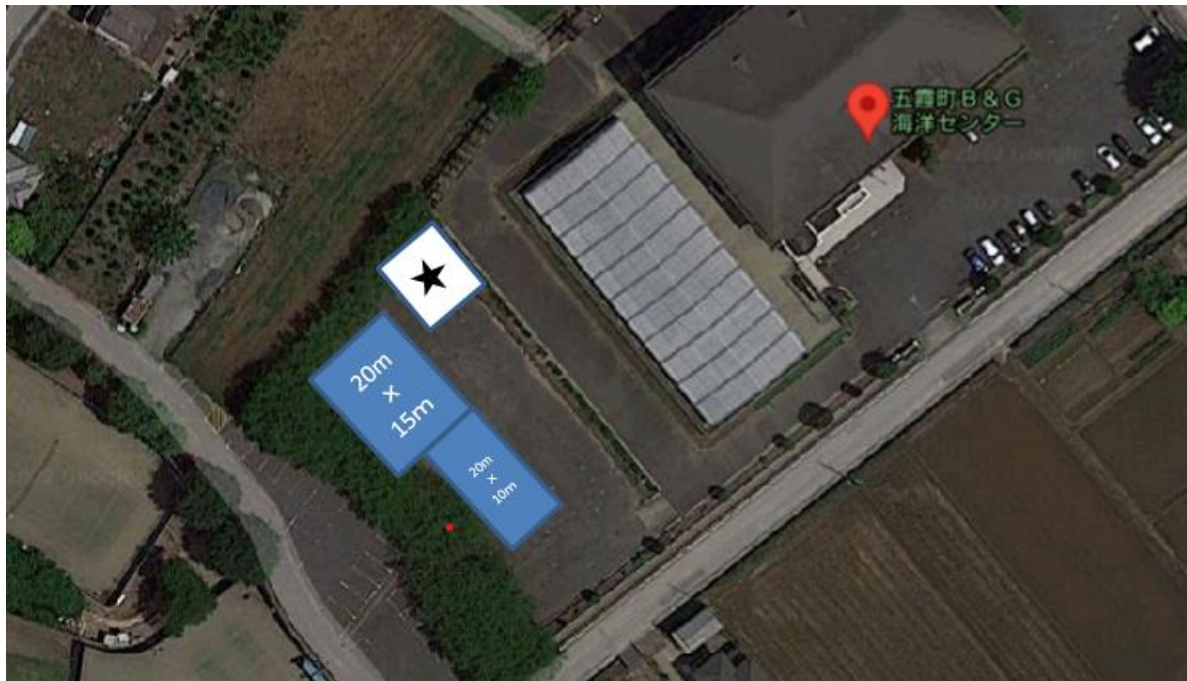
※調査地である五霞町海洋センター設置後の様子。

#### (5) パイロット事業の詳細



①実施先：茨城県五霞町 B&G 海洋センター

選定理由：海洋センター周辺スペースに遊具が設置可能であり、体育館利用者の見守り活動の調査も可能である。また、遊具利用の中心となる2～5歳の人口が161名おり、上記(3)の調査が可能なセンターであるため。



※配置図 五霞町海洋センタープールの横の広場に設置。

② 上記(2)の仮説に基づき、以下のスケジュールに実施する。

内容	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
遊具の設置	→							
教室・イベント開催			→					
アンケート・ヒアリング調査			→					
利用人数等集計			→					

※3月に教室・イベントを実施予定であったがコロナウィルス感染症の影響で4月に延期となった。調査については、4月～9月に継続実施とする。

以上